

第2回 白子町地域公共交通活性化協議会分科会会議録

【日時】

令和6年2月7日（水）14:00～15:00

【場所】

白子町役場 2階第2会議室

【出席者】

- 白子町地域公共交通活性化協議会分科会委員
大矢昌明委員、深山宏樹委員（代理出席：佐藤朋晴氏）、
小松直人委員（代理出席：成松花鈴主事）、大矢務委員
- 事務局
加藤孝行企画政策係長、上代智也主事
- 策定支援委託業者
株式会社ケー・シー・エス 川村優太氏

【次第】

1. 開会
2. 議題 （1）白子町地域公共交通計画（基本方針～施策部分）について
3. その他
4. 閉会

【資料】

- 白子町地域公共交通計画（基本方針～施策部分）

【議事要旨】

1. 開会
2. 議題
(1) 白子町地域公共交通計画（基本方針～施策部分）について
委託業者より説明。
 - ◎（委員）
取組スケジュールが空欄だが、関連性のある施策3と施策5はどのように進めていくのか。
 - ◎（支援業者）
施策3のらくらくタクシーが、町民の足に最終的になってくれれば良いと考えている。町内だけの移動だと、生活移動全てをカバーするのが難しい。最終的には、町外へのアクセスっていうところも図っていく必要があるのかなど。ただ、近隣市町村の意向や公共交通協議会にも図っていく必要があるので、まずは町内の移動で、町外に関しては路線バスとのアクセスでフォローするっていう書き方をしてるのが施策3になる。最終的にはエリア外への商業施設であったり、医療施設にアクセスが

できた時に、施策5の福祉タクシー事業、タクシー助成の需要が、減ってくるのではといったところで、見直しの一環として、金額を減らすだとか、タクシー券の枚数を減らして、その分らくらくタクシーを使う形にして、浮いた資金を使ってまた別の取り組みを進めていく考え。

◎（事務局）

今の話と資料の内容だけだと、らくらくタクシーが無料でやってるものになるので、無料で全部やるのかっていう話になってしまうかなってところがあるが、例えば公共交通デマンド化とか考えた場合には、無料ではなくて有料化して、タクシーとかバスの方に乗れるように、白子車庫とかに有料で送り、公共交通を使うように促すイメージ。金額部分については、タクシー事業者との協議も必要にはなってくるので、その辺りは、協議をしつつ行っていきたいっていうのと、らくらくタクシーは今1台で社会福祉協議会がやっているが、それだけでは対応ができないこともあるので、今後の検討として、タクシー事業者に業務を委託してすとか、そういったところも含めて、協議していくということで、記載している。

◎（支援業者）

名称だとか、場合によったら車両もだが、そういうリソースに関しては、らくらくタクシーを踏襲していくが、実質的には新しくデマンド交通を整備すると考えても差し支えないかなと。1つ補足すると、公共交通化した場合でも、例えば今のらくらくタクシーを使っている高齢者の方々に引き続き無料で利用させたいというようなことであれば、高齢者バスみたいな風な形で対応ができるかと。

◎（千葉県）

1点目が、施策1つとして、地域間幹線系統の補助を利用して路線を維持確保していくということを、明確に位置づけること。2点目が、各施策に対する基本的な目標やその評価をどのようにするのかということ、明確に記載するようにしていきたい。

今の2つについては、今回の分科会の前に事務局に伝えてあるので、支援業者とご確認し記載の方をお願いします。2月22日に協議会があると思うが、少なくともその前までに運輸局にも、ご確認をいただければなど。

◎（委員）

施策11で若干触れてるんですが、一般の人との混乗ってということで、こういう一般の人と混乗って多いのか。実際問題、かなり少ないのではないかと。

◎（支援業者）

確かに先進的なケースなんで、例が多いわけではないが、例えば路線バスが走ってないエリアだと、公共交通が全くないエリアで、走ってるスクールバスを利用する取り組みはあるし、私が関わってる他の自治体でもそういうところを考えると少しずつ出てきている。

既存の交通事業者だけですと、乗務員不足等々もあって、なかなか輸送サービスを増やせないっていう背景があるので、今走ってるものを最大限活用するといった方針になってくるので、そういう意味で、事例が出てきている。

◎（委員）

新しく学校を作ろうとする位置、例えば白子中学校の近くって言った時に、果たして一般の人が何を目的に乗るかとか、誰をターゲットにどこまで乗っていくのっていうところが、どうなってるのかなっていうのか全然わからない。こちらの計画が先行するので、学校統合の話が進んで、スクールバスをどうするかが具体化するとき、保護者が承知してくれるかというのと、スクーバスがまだ全くの0回答の中で、これを出ししてしまうのはどうなのかなというところはある。

◎（支援業者）

保護者の反対っていうのは、スクールバスの一般混乗を考えた時の1番のネックになってくる部分になる。地域によっては、保護者の方が反対して、取りやめになったっていう風なケースもあったりはするので、慎重に協議を進めていく必要があるのかなと。例えば、白子中学校までの途中のエリアにある役場であったり、商業施設のあたりだとか、コンビニだとかっていう風なところに、経路上で立ち取ることができそうであれば、そういうところで乗降できるような形を想定できるかなと。ただ、基本線としては、まずスクールバスはスクールバスの方で考えて、そこに乗っかれそうだったら、一般混乗で一般の方の利用っていうところも合わせて考えていくところで、スクールバスの詳細が出てきた時に、じゃあどうするかっていうところも検討していくというのがこの施策の趣旨になる。

◎（委員）

話が少し戻りますが、らくらくタクシーのデマンド化について、例えば関地区から白子車庫へ、そこからバスに乗り変えて、茂原、大網方面に向かうとなると、利用者目線だと無駄な時間が発生してくる。実際目的地まで行った方がいいと思うのですが、まずそこを受け入れてもらえるのかなっていうのは、拝見して思ったんですが。

◎（支援業者）

今の体系でそこから茂原駅や大網駅の方に移動するためにどうやって移動するかって言ったら、実質自家用車か一般タクシーになってくる。タクシーの場合、片道で3700円ぐらいかかかると、らくらくタクシーを公共交通にするようになったら、公共交通の位置付けなので、路線バスとの利便性も考えて、路線バスにプラス何十円か、プラス100円かっていう金額設定で、何百円程度で利用できるような金額設定になるかと考えている。なので、一般タクシーを利用することに比べれば、時間はかかるが、経済的な負担を軽い形で、移動ができるところがメリットになる。

◎（委員）

考え方として、選択肢っていう意味ではありだが、実際やったけど、利用者が少なかったというのは良くないし、タクシーを利用するに比べて、はるかに金額を抑えられるのはわかるが、時間もある意味お金の換算できるのかなと思うので、そこをどう感じられる方が多いのかなっていうことをスケジュールも含めて、やはり町民の方々の意見を吸い上げて検討してみるっていう必要があるんじゃないかなと。

(支援業者)

白子町の公共交通網の最終形態っていうのが、らくらくタクシーを使って場外まで移動できることになるかと考えている。移動先の市町村の意向であったりだとか、協議会の意向であったりで、すぐに決められる話ではないので、すぐにはできないかなど。実際らくらくタクシーをデマンド交通化する際に運行計画立てる段階で、例えば料金だとか、どういう時間帯にどうするか、台数をどうするかだとか、色々検討する事項はあるので、その過程の中で町民の方に、今度はデマンド交通を運行する前提で設問を立ててアンケートを実施するのは十分にあり得る話かなど。

3. その他

4. 閉会